

# 緑内障

第79回臨床眼科学会 モーニングセミナー9 (MS9)

## ロングチューブシャント手術の 効果と安全性の両立にむけて



座長

**赤木 忠道** 先生 | 新潟大学

緑内障手術は進行を抑制することを目的に眼圧を下降させる手術です。近年、さまざまな術式が登場していますが、基本的には眼圧下降効果と安全性はトレードオフの関係にあります。安全性を確保しつつ、より高い眼圧下降効果を長期間維持できるかどうか、より良い緑内障手術に求められるポイントです。

緑内障ロングチューブシャント手術は、難治緑内障に対しても十分な眼圧下降効果が期待できる手術であり、日本でも広く普及しています。術者による様々な工夫がなされているほか、新たなデバイスの選択肢も増えてきています。

手術効果と安全性をいかに両立させるか、本セミナーでは、そのための工夫や新しいデバイスに関する最新情報を提供いたします。



演者①

**アーメドクリアパスの特性と術式における工夫**

**沼 尚吾** 先生 | 京都大学



演者②

**続発緑内障診療におけるアーメドクリアパスへの期待**

**楠原 仙太郎** 先生 | 神戸大学



演者③

**アーメドクリアパスST250の短期使用成績**

**庄司 拓平** 先生 | 小江戸眼科内科



2025 **10.10** FRI.  
7:30~8:20

**第11会場**

リーガロイヤルホテル大阪 3F 光琳3